



# 飯野 小学校だより

Iino Elementary School News

2020 (令和2) 年

12月22日

No.27

校長 原 裕

## ■ 本日、あゆみ渡してした。

### ◆ 小さな努力が自分の花を咲かせる

あゆみ(成績表)は、子どもたちの「今」の学習目標の達成状況や生活の様子をお知らせし、今後、力を入れたいところを確かめるものです。

本日、学校において、3学期の目標や希望につながっていきますよう、お話をしましたので、お家でも「よくできる」「できる」をまずしっかりほめてあげて欲しいと思います。

そして「もう少し」だったところは、冬休みの目標に付け加えたり、3学期の3か月で、毎日取り組めるよう、めあてを考えたりして欲しいです。お子さんと「努力することで、変えていけること」をまず1つ探してみましょ。日々の小さな努力の小さな変化が、いつか自分の花を咲かせる結果につながることを子どもたちに伝えていましょ。



### ◆ 「はやぶさ2」と、明日へのやる気

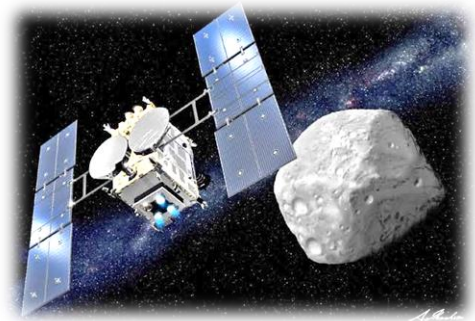
「はやぶさ2」が6年ぶりに地球に帰ってきたニュースは久しぶりに明るい話題でした。日本の惑星探査衛星「はやぶさ2」のことです。

今から6年前、地球から3億キロメートルはなれた宇宙にある小さな惑星「リュウグウ」をめざしました。その目的は、私たちの住む地球にどうやっ

て、最初の生命が誕生し、私たち人間がどのように生まれたのかを解明するためです。

宇宙で、地球ができたばかりの頃は、全く水がなかったと言われています。水が無く、生物もいなかったわけですから、最初の生物は外から持ち込まれたと考えられています。それは宇宙からのチリや今回着陸した小惑星や彗星などにあった水分が、生物のもとになったものと予想されています。はやぶさが、着陸した「リュウグウ」の表面の砂をスプーン一杯分取ってくることで、地球誕生、生命誕生の謎に迫るという大プロジェクトです。

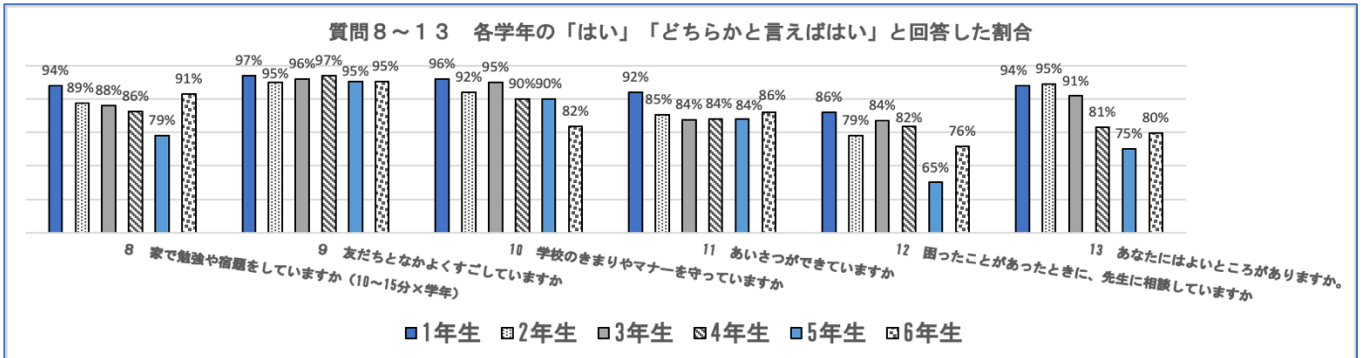
はやぶさ2のニュースを聞きながら考えたことは、子どもたちには、まだこの世界や宇宙には、人間が知らないこと、わかっていないことがたくさんあることを知って欲しいということです。そして、知りたいという「探究心」がはやぶさ2の成功につながったということです。探究心につながる、子どもたちの「なぜ・どうして?」という疑問はとても大事です。子どもたちの「なぜ?」は、大いにほめて、大人は子どもたちの小さな疑問にちゃんと答えてあげることが大事です。学習意欲、すなわち明日へのやる気は、日々の小さな「なぜ?」と、子どもと大人のちゃんと向き合う関係から生まれてくるものです。



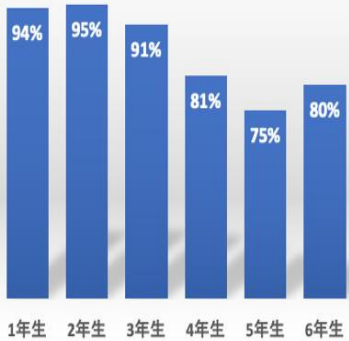
## ■ 飯野小学校2020年度「児童アンケート」の結果から ②

6月と12月に、児童アンケートを行いました。前回に引き続き19のアンケート項目の結果をお伝えするとともに、飯野小の教育活動の「強みや弱み」を整理し、今後の取組に活かしていきます。

☆ グラフは12月のアンケート結果で、「はい」「どちらかといえばはい」と回答した割合

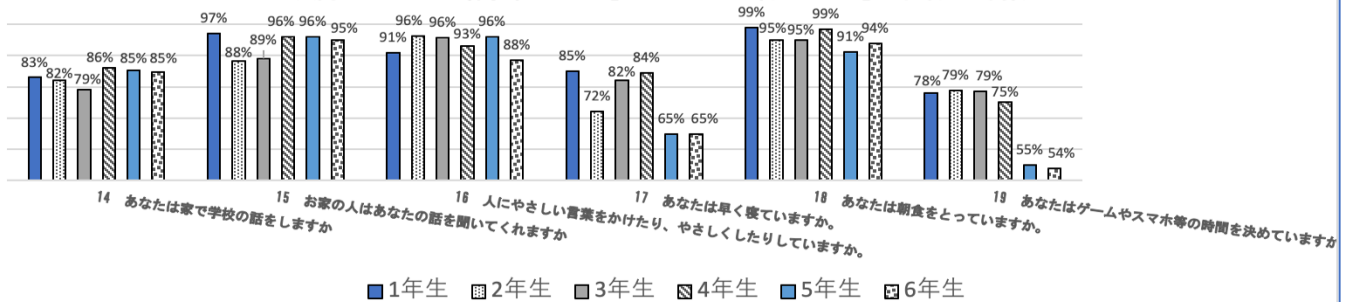


13 あなたにはよいところがありますか

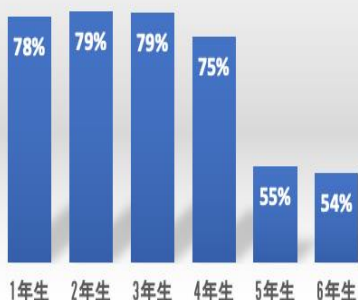


質問13は、「自尊感情」を問うものです。今回、6月アンケートと比べ、子どもたちの回答で「はい」「どちらかといえばはい」が最も大きく増えた項目でした。また、昨年度と比べても、向上が認められました。自尊感情は、自分のよいところも悪いところも認めた上で自分自身を大切にしたいという気持ちです。自分の存在を認めて、自分の居場所が見つけられる状態です。このことは、学習や生活に、前向きな姿勢を生みます。学校での自尊感情を高める取組は一つに限りませんが、今後、成果が見えた取組を全職員で共有し、引き継いでいきたいと思えます。

質問14～19 各学年の「はい」「どちらかといえばはい」と回答した割合



19 あなたはテレビゲームやスマホなどの時間を決めていますか



コロナによる休校で在宅の時間が増え、1学期は、オンラインゲームなどによるトラブルがありました。今回のアンケートでも、高学年を中心に、ゲームなどに費やす時間を決められずにいる子どもたちが、半数近くいることがわかります。3学期から次年度にかけて、校内での具体的な取り組みを検討していきたいと思えます。子どもたち自身も、困り感を持ちながら過ごしている実態があるのではないかと考えています。